

市議会定例会を開催



第6回岡谷市議会定例会が、9月7日(木)から10月4日(水)の28日間の会期で開かれました。

この議会では、平成17年度一般会計・特別会計・企業会計の決算の認定や条例の制定、平成18年度一般会計予算の補正などが審議され、一般質問も行われました。

主な内容をお知らせします。

◆ 人事案件 ◆

▽人権擁護委員に笠原京子氏を選任することに同意しました。

◆ 条例等 ◆

▽岡谷市職員の公益法人等への派遣等に関する条例を会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の公布、施行に伴い、一部改正することを決めました。

▽岡谷市福祉医療費給付金条例を7月豪雨災害による被災世帯を福祉医療費給付金の支給対象者とみなすため、一部改正することを決めました。

▽岡谷市国民健康保険条例を出産育児一時金の支給額を増額するため及び7月豪雨災害の被災者に係る一部負担金の減免等をするため、一部改正することを決めました。

▽諏訪広域連合規約を諏訪広域連合議員の定数及び関係市町村において選挙すべき広域連合議員の定数について削除するため、一部変更することを決めました。

◆ 補正予算 ◆

▽平成18年度岡谷市一般会計で、災害救助費、農地災害復旧事業費、農業用施設災害復旧事業費、林業施設災害復旧事業費、道路災害復旧事業費、河川災害復旧事業費、学校施設災害復旧事業費、体育施設災害復旧事業費などのために、14億2627万4千円を追加し、総額204億5467万1千円とすることを決めました。

◆ 決算 ◆

▽平成17年度岡谷市一般会計、岡谷市国民健康保険事業特別会計など10会計及び岡谷市市立岡谷病院事業会計、岡谷市健康保険岡谷塩嶺病院事業会計、岡谷市水道事業会計、岡谷市下水道事業会計の各企業会計は、決算特別委員会を設置して審議し、10月4日の本会議で決算認定しました。

◆ 一般質問 ◆

▽15人の議員が今後のまちづくり、病院統合、7月豪雨災害についてなど市政全般にわたって活発な議論を交わしました。

◆ 意見書 ◆

▽「私立高校への公費助成に関する意見書」「じん肺根絶の諸施策に取り組むことを求める意見書」「平成18年7月豪雨災害の復興支援に関する意見書」を可決し、国会および関係府庁へ提出することを決めました。

市議会の会議録は岡谷市議会ホームページからご覧いただけます。

また、市議会定例会（9月議会）一般質問の録画映像について、インターネット配信もしています。



岡谷市総合防災訓練

もしも…のときに備えて、防災訓練に参加しましょう！

7月19日には、豪雨により市内各所で土石流、溢水が発生し尊い命が奪われました。

災害の教訓として、「いかに家族や自分自身を守るか」という【自助】、「隣組等での助け合いの精神」を基調とした【共助】の重要性が叫ばれています。このことは、あらゆる災害にいえることです。

防災意識を再確認するために、避難ルート・避難場所の確認、非常持ち出し品、非常備蓄品の再点検をし、実際に防災活動をすることによって防災意識を高めましょう。



◆地域ごとの防災訓練（H17 花岡区）



主な訓練会場

- 期 日** 11月19日(日)
- 時 間** 午前7時30分～9時30分
- 場 所** 市民総合体育館西側駐車場
- 内 容** 情報受理訓練、避難誘導訓練、要援護者避難誘導訓練、情報収集・報告訓練、アマチュア無線、倒壊家屋救出訓練、救護所開設・救護訓練、土のう作り・積み訓練、水防訓練、炊出し訓練、消火訓練、避難所設置訓練ほか

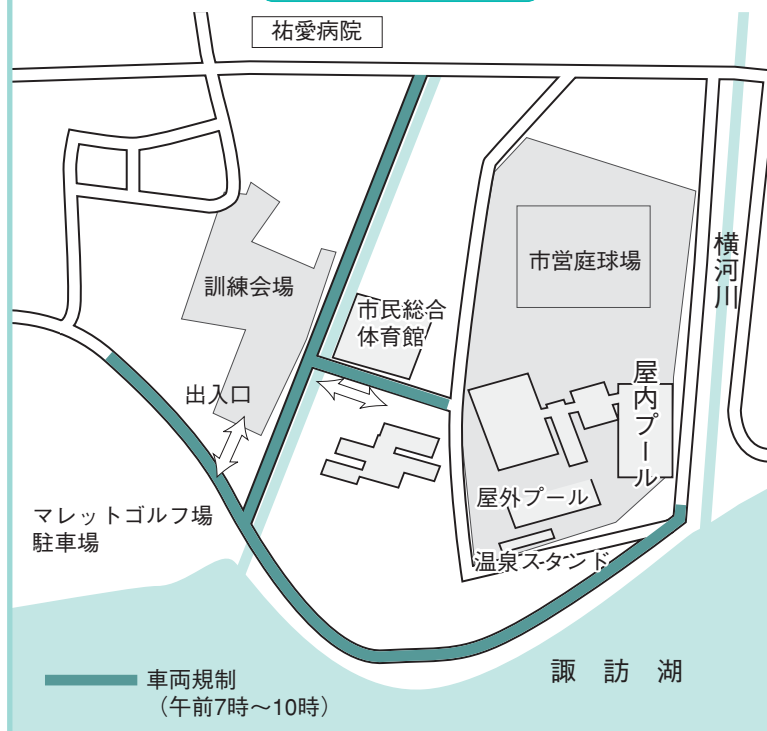
訓練当日 サイレンを鳴らします

防災訓練の11月19日(日)は、午前7時30分ごろサイレンを鳴らします。災害と間違えないようにしてください。



問合せ
危機管理室
(内線1591)

会場略図





『誠意ある対応を』

すずき えいすけ
鈴木 栄介 さん

- 『有限会社旭機工』にお勤めの専務取締役 鈴木栄介さん。
- Q お仕事は何年目？
A 10年目になります。
- Q お仕事の内容は？
A 主に工作機械の卸販売をしています。その中でも、営業と事務業務をしています。
- Q 大変なことは？
A 工作機械だけでなく幅広い物品の注文を受けて納品納入するのが仕事になるので、短時間に何箇所も届けなければいけないときは大変ですね。
- Q やりがいは？
A たくさんの人に出会えることです。年上の人が多いので、人生教訓にもなります。
- Q 気をつけていることは？
A お客様がどんな気持ちでいるか察して、臨機応変に対応することを大切にしています。
- Q 休日の過ごし方は？
A サッカーチームに入っているので、サッカーをしたり、子どもが4人いるのですが、子どもと遊んだりもしています。
- Q 今後岡谷市はどうなっていくと思いますか？
A 活気がほしいですね。子どもがもっと増えるといいなと思います。
- Q 将来の夢は？
A 業界一の会社にするということです。

ニュージーランドの不登校問題

最近、テレビやニュースで、「いじめ」や「不登校」という言葉をよく聞きますが、多くの子どもや家族にとって、それは大きな問題になっています。日本では、一般的に「不登校」と言えば、在籍中の学校を長期にわたって休んでいる生徒・児童、または登校したくともできない状況にあることを指します。ニュージーランドでも、同じように登校しない子どもが多く、教育省が行った調査によると、2004年に学校を休んだ子どもの中で、30%近くの子が、不当な理由で欠席をしました。

日本と同じように、いじめや学校嫌いなど、子どもが学校に行かない理由はいろいろありますが、残念なことに、何かしらの理由で子どもを学校に行かせない親も多くいます。子どもが教育の機会を与えられる権利があるように、親は子どもを学校に行かせる義務がある

と思います。

最近、特に問題になっているのは、「両親が酔っ払っているから、働いているから、小さな兄弟の面倒を見るため」などの理由で学校に行かない子どもです。また、学校を欠席する子どもの中には、万引きや泥棒などの犯罪に係る人がたくさんいるので、多くの「地域不登校対策機関」が警察と緊密に連携して、学校を無断欠席する子どもの自宅を訪問したり、親に罰金を科したり、子どもの無断欠席が長引くと、場合によっては親を起訴するケースもあります。

ニュージーランドでは、14歳以下の子どもがベビーシッターの役割を果たすことがまず、法律違反であり、親は16歳まで子どもを学校に行かせる義務があるので、このような強硬手段を取らないといつまでも親が無責任であり、不登校、いわゆる無断欠席率の問題を解決

Kia ora!!



国際交流員の
セーラ・アキレス さん

No.24

クイズ

だけの方、お子さんのス
話題を募集しています！
課まで。

『秋の日つるべ落とし』という言葉があるように、最近、あっという間に日が暮れてしまいます。秋の夜長、読書など時間を大切にしたいですね。

◎前回の答え (10/1) と当選者

問1-③ふれあい 問2-③赤い
問3-③ファミリー

正解総数16通 (応募総数17通) の中から抽選で、宮部リウ子さん (銀座1)、柳澤玲子さん (加茂町3)、三久富子さん (神明町1)、寺嶋ふ志糸さん (幸町7)、小沢長人さん (堀の内1) にオリジナルスプーンをお送りします。

**あなたに
挑戦!**
No.251
広報クイズ

問1 平成17年度決算報告がなされました。一般会計ではいくらの黒字だったでしょう。

答え ①6億5867万1981円
②5億7366万1700円
③4億6733万4625円

問2 11月11日～17日は〇〇週間です。

答え ①児童虐待防止推進
②ねんきん ③税を考える

問3 第6回岡谷市議会定例会の会期は何日間だったでしょう。

答え ①15日間 ②28日間 ③30日間

ヒント…記事を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号、一言を書き、広報クイズ係 (〒394-8510 岡谷市役所 (住所不要)) までお送りください。抽選で5名の方に武井武雄ラムラム王オリジナルスプーンをお送りします。11月20日の消印まで有効。(ひと言は15日号みんなの声) に掲載させていただく場合があります)

市民レポーター だより

浜 まゆみさんの
姉妹都市交流職員レポート

初！県を越えた職員研修

岡谷市には、富岡市 (群馬県)・玉野市 (岡山県)・東伊豆町 (静岡県)・マウント・プレザント市 (アメリカ合衆国)と、姉妹都市が4つあります。その中の一ツ群馬県富岡市から、岡谷市に交流職員として来ている企画課主任の須藤大輔さんにお話を伺いました。

須藤さんは、今年の4月から来年3月までの1年間、市全体の事業、具体的には新しい病院施設のことや、火葬場の場所はどうするかなど、進み具合を見ながら、先を見据えた計画の仕事をなさっています。「殻に閉じこもらずに、他の市のことも知りたい」と、とても意欲的です。

災害のとき、市職員が避難所で被災者の対応をしている姿を見て、突発的なことが起こっても自ら動ける職員が多いと感じたそうです。災害ボランティアとして活動する中で、須藤さんは「土砂に埋

もれた家の家族の事を思うと、気が重くなってしまうましたが、市のバックアップなどにより、みなさん力強く復興に向かっています」と、おっしゃっていました。

また、「まちづくりサロンでは、市民の生の声が聞けるのでいいですね。岡谷市民の意見は富岡市民と比べると、華やかですね。富岡の好きところは、気候が穏やかで住みやすく、のんびりとしている所です。現在は富岡製糸場を中心に、まちづくりを進めていて、昔のにぎわいをもう一度つくってほしいと思っています。

製糸場は国史跡として重要文化財に指定され、世界遺産登録運動をしています」と、話してくださいました。

太鼓祭りや、御柱祭も観たいので、5年後か10年後にはまた、岡谷に来たいと思っています。そのとき、岡谷はどのように変わっているのか楽しみにしている須藤さんでした。



姉妹都市交流職員

須藤大輔さん



市民レポーター 浜まゆみさん